

日本心臓血管麻酔学会 第12回学術大会

プログラム・抄録集

会 長 ■ 秦 恒彦 (福岡市立こども病院・感染症センター 医療主幹)

会 期 ■ 2007年9月15日(土)・16日(日)

会 場 ■ アクロス福岡

〒810-0001福岡市中央区天神1丁目1番1号
TEL. 092-725-9113 FAX. 092-725-9110



日本心臓血管麻酔学会 第12回学術大会開催にあたって

福岡市立こども病院・感染症センター 医療主幹(手術部・集中治療室担当)

会長 秦 恒彦

日本心臓血管麻酔学会の学術大会は12回目を迎えました。第1回大会が東京女子医科大学の講堂で開催されてから十二支を一巡したことになります。第12回学術大会のメインテーマは「知識と技術の継承」とさせていただきます。本学会や関連諸学会などで蓄積された心臓血管麻酔に関する種々の知識や技術の次世代への継承、という観点を意識しながらプログラムを作成いたしました。

メインテーマと関連した教育講演として、第1日目に信友浩一先生(九州大学)の「知識と技術を継承できる基盤」、第2日目に高橋成輔先生(九州医療センター)の「分化と統合の知恵 - 麻酔科専門医は必要か? -」とのタイトルで、我々専門家集団に対する根源的な問いかけともいえるべき内容のご講演をいただけたと思います。

学会第2日目のパネルディスカッションでは直前の教育講演と関連づけてお聞きいただけるようにしました。パネルディスカッション「非心臓手術時の麻酔管理 - repaired heart -」と石川司朗先生(福岡市立こども病院・感染症センター)の教育講演「フォンタン循環」、パネルディスカッション「心臓麻酔における医療安全管理を確立させるには - 裁判事例から学ぶ -」と入田和男先生(九州大学)の教育講演「麻酔関連偶発症」が、それです。

上記に加えて、教育講演として角 秀秋先生(福岡市立こども病院・感染症センター)に外科医の立場から「左心低形成症候群への挑戦」について解説していただき、小児心臓手術に対する鎮静について Suhaini Kadiman 先生(マレーシア)に「Dexmedetomidine and its advantageous in pediatric cardiac patients」をお話いただきます。

パネルディスカッション「あなたが拓く(ひらく)、血栓・止血の制御 - 心臓血管麻酔における展望 -」と、シンポジウム「心臓手術後の脳障害を軽減できるか?」は、より緻密な周術期管理を目指すために、循環動態の直接的な制御と平行して我々が積極的に関与していくべき分野のアップデートを図っていただけたと思います。シンポジウムの冒頭では Cor J. Kalkman 先生(オランダ)に「Neurologic complications of cardiac surgery」と題する基調講演をしていただきます。

知識を継承する手段の一つとして文献の精読があげられます。恒例となった文献レビューでは、最新の話題と知見をコンパクトにまとめてご紹介いただけたと思います。技術の継承には自ら手を動かすことが欠かせません。定員制とはなりますが、ハンズオン・参加型の企画として、人工心肺ワークショップ、超初心者のための TEE ワークショップ、中心静脈カテーテル挿入ワークショップなどを計画しています。

以上のプログラムに加えて、一般演題セッションで活発にご討議いただくことで、知識と技術の継承の一助となることを願っています。関係者相互の絆が深められ、心臓血管麻酔分野の進歩発展が促進される有意義な集まりとなりますよう、精一杯お世話をさせていただきます。

福岡は食べ物、特に海産物の美味しいところとしても知られております。学術大会でほどよい刺激を受けた心身を、街に繰り出してリフレッシュしていただくのもまた一興です。福岡は交通の便にも恵まれていますので、お時間があれば九州各地の観光地へ足を伸ばされても良いかもしれません。

みなさまの福岡へのお越しを心よりお待ちしております。

日本心臓血管麻酔学会第12回学術大会 会期・会場のご案内

■ 学術大会

2007年9月15日(土) 9:30～20:00

2007年9月16日(日) 8:00～16:00

アクロス福岡

■ 総会

2007年9月15日(土) 12:15～12:45

アクロス福岡4F 第1会場(国際会議場)

■ 常任理事会

2007年9月14日(金) 16:00～18:00

アクロス福岡2F セミナー室1

■ 理事・評議員会

2007年9月15日(土) 11:45～12:15

アクロス福岡4F 第1会場(国際会議場)

■ 学術委員会

2007年9月16日(日) 7:45～8:45

アクロス福岡2F セミナー室2

■ 医療機器展示

2007年9月15日(土) 9:30～17:00

2007年9月16日(日) 9:00～15:00

アクロス福岡4F/7F ロビー

■ 書籍展示販売・ドリンクサービス

2007年9月15日(土) 9:30～17:00

2007年9月16日(日) 9:00～15:00

アクロス福岡7F 701/702会議室

会場案内及び会場図

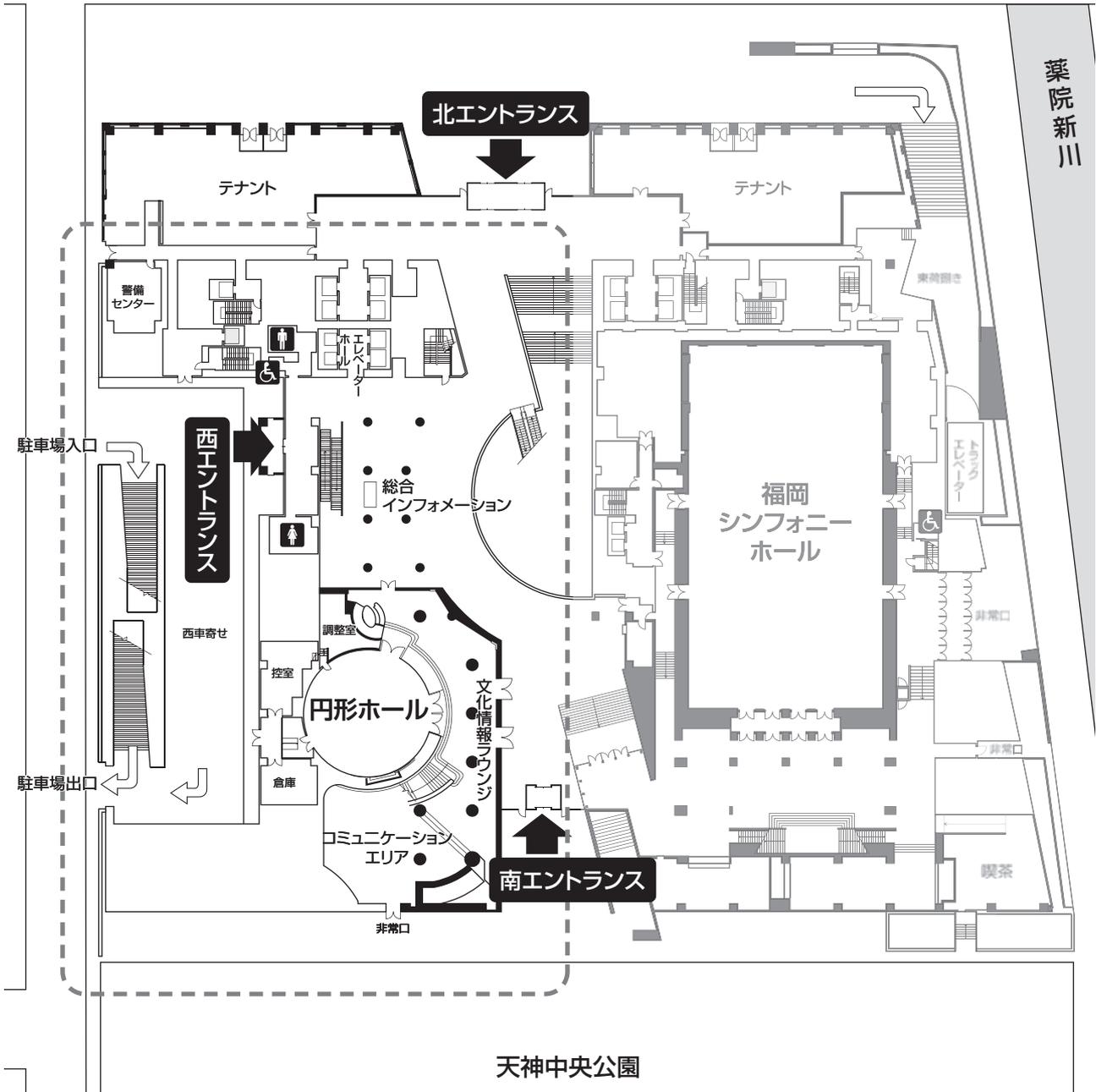


- 福岡空港から天神まで地下鉄で11分
 - JR 博多駅から天神まで地下鉄で5分
 - 西鉄福岡駅から徒歩10分
 - 地下鉄天神駅から徒歩2分
- ※地下鉄天神駅16番出口から、
アクロス福岡地下2階へ直接入館できます。
- ※地下3階に時間貸の有料駐車場(約100台分)
があります。(営業時間7:00~22:00)
- ※入口はベスト電器側です。

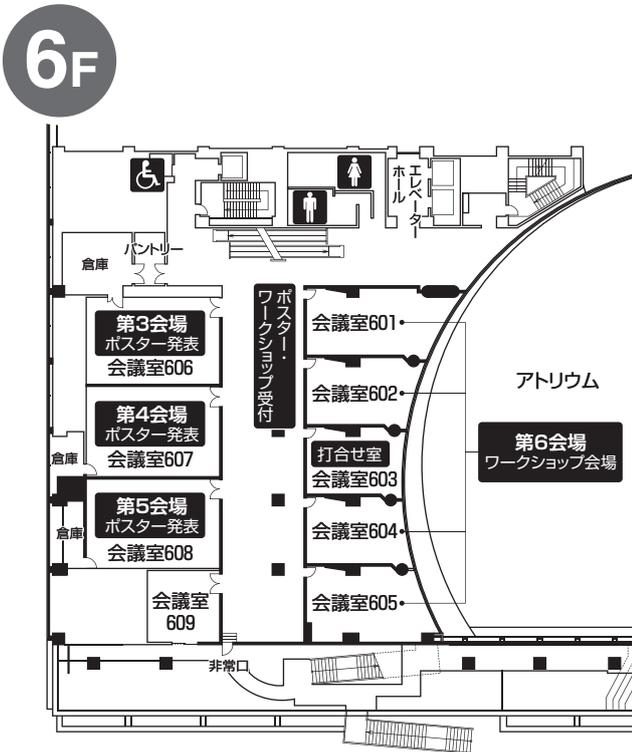
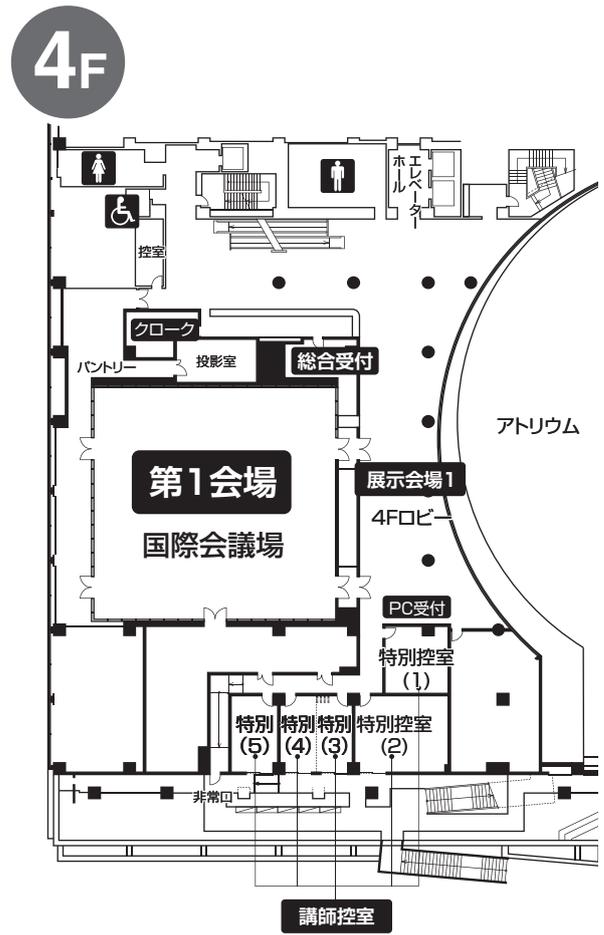
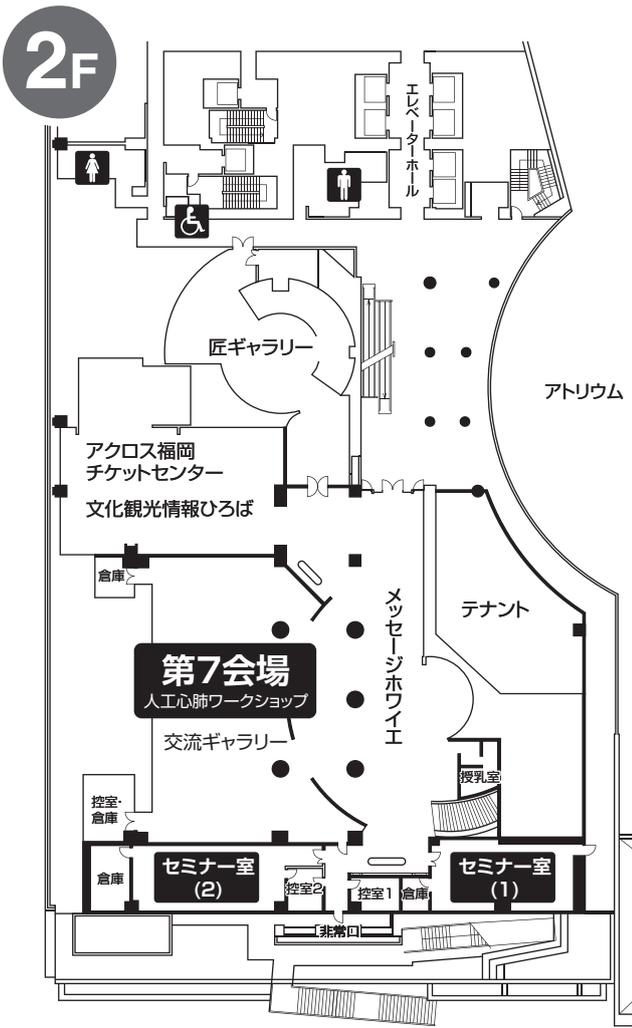
会場のご案内

1F

明治通り



※午前8時までの入館は、西エントランスをご利用下さい。



日本心臓血管麻酔学会第12回学術大会 運営要項

参加者の方へのご案内とお願い

I 参加登録

1. アクロス福岡 4F ロビー 総合受付で参加登録をしてください。

9月15日(土) 8:30～18:00

9月16日(日) 7:30～16:00

2. 学会参加登録について

- 1) 当日、参加受付で参加登録費をお支払いの上、ネームカードをお受け取り下さい。

	参加登録費
医師	10,000円
看護師、技師などの方	3,000円

- 2) 学術大会の参加者は、日本心臓血管麻酔学会の会員・非会員を問わず参加登録を行ってください。
- 3) 一般演題の筆頭演者は参加登録費を免除いたします。4F 総合受付に専用の受付を設けますのでご利用ください。
- 4) ネームカードには、所属、氏名をご記入の上、会場では常時ご着用願います。ネームカードを着用していない方の入場はお断りいたします。
- 5) クロークはアクロス福岡 4F に設置します。クロークのご利用時間は下記のとおりです。必ず時間内にお引取りください。

9月15日(土) 8:30～20:30

9月16日(日) 7:30～17:00

II 抄録集

参加登録費に抄録集の代金は含みません。会員には抄録集を事前に送付いたしますので、ご持参ください。会期中は会場で販売しますが、数に限りがございますので予めご了承下さい(1冊3,000円)。

III TEE セミナー、超初心者のための TEE ワークショップ、CPB ワークショップ

1. いずれも事前に登録された方のみ受講可能です。
2. 受講者は、各会場前の受付で受講証をご提示のうえ、1,000円をお支払いください。テキストをお渡します。各セッション開始30分前から受付を始めます。
3. 座席に余裕がある場合は当日の受講登録を受け付けます。
4. 「TEE セミナー(1)」、「TEE セミナー(2)」、および「超初心者のための TEE ワークショップ」への出席により、日本心臓血管麻酔学会(JSCVA)の5単位がそれぞれ認定されます。

Ⅳ アーリーボードセミナー、ランチョンセミナー、イブニングセミナーについて

1. アーリーボードセミナーとランチョンセミナーでは、お弁当(アーリーボードセミナーは軽食)をご用意いたします。数に限りがございますので予めご了承ください。

Ⅴ 中心静脈カテーテル挿入ワークショップについて

1. 事前に登録された方のみ受講可能です。
2. 受講者にはお弁当をご用意いたします。
3. 座席に余裕がある場合は当日の受講登録を受け付けます。

Ⅵ 会員懇親会

会員懇親会は開催いたしません。

座長の方へのご案内とお願い

口演

1. 進行は座長にお任せいたしますので、時間厳守でお願いいたします。
2. 担当セッション開始15分前までには会場内右手最前列の「次座長席」にお越しの上、進行係に声をかけてください。

ポスター

セッション開始10分前までにポスター会場受付にお越しくください。座長用リボン(赤色)をお渡ししますのでご着用ください。進行は座長にお任せいたしますので、時間厳守でお願いいたします。
ポスターセッション座長受付：アクロス福岡 6F ロビー

発表者の方へのご案内とお願い

口演

- 口演はPCプレゼンテーションのみです。スライド発表はできません。ご自身のPCをお持ちいただくか、メディア(CD-ROM、USBフラッシュメモリーのみ)をご持参ください。
- ご発表前にPCオペレーター立会いのもとで動作の確認をいたします。ご発表45分前までにPC受付にPCもしくはメディアをご持参ください。

1. PC 受付

場所：アクロス福岡 4F ロビー

	受付時間
9月15日(土)	8:30~18:00
9月16日(日)	7:30~16:00

2. PC 発表に関して

1) PC お持ち込みの場合 (Windows、Macintosh 可)

- PC 付属の電源コードを必ずご持参下さい。
- PC とプロジェクタを接続するコネクターはミニ D-sub15 ピンです。ミニ D-sub15 ピンと直接接続できない PC をお持ち込みの場合、付属の変換コネクターをご持参下さい。
- PC とプロジェクタの接続の不具合に備えて、発表データを記録したメディア (USB メモリーもしくは CD-ROM) をご持参ください。
- サスペンドモード (スリープ) やスクリーンセイバーは解除しておいてください。
- PC 受付での試写後、発表 20 分前までに発表会場の PC デスクにご自身で PC をお持ちください。
- ご使用になった PC は発表終了後に発表会場の PC デスクで返却いたします。

2) メディアお持ち込みの場合 (Windows 限定)

- 会場にご用意する PC の OS は Windows XP のみです。Macintosh をご利用の方は PC お持ち込みのみとなりますので、ご注意下さい。
- アプリケーションは Microsoft PowerPoint2000 および 2003 をご用意いたします。
- フォントは OS 標準のものをご使用ください。OS 標準以外のフォントの表示は保証いたしません。どうしてもご使用になりたい場合は画像化してオブジェクトとして貼り付けてください。アニメーションや画面切り替えなどの効果の動作は保証いたしませんのでご了承下さい。
- 画面解像度は XGA (1024 × 768) に設定してください。これより大きい場合はスライド周辺が切れてしまいます。
- 動画ファイルを使用される方は、動作に不具合が生じることがありますので、ご自分の PC をお持ち込み願います。
- 学術大会で使用するメディアを介した PC ウイルス等の不正プログラム感染の事例がありますので、使用前後に各自で対策ソフトウェア (最新データにアップデートしたもの) による不正プログラムのスキャンと駆除をお願いいたします。

3. 発表時間

- 1) 藤田昌雄賞候補の口演発表は 1 題 12 分 (発表 : 8 分、討論 4 分) です。時間厳守でお願いします。
- 2) 次演者は、前演者が登壇されましたら「次演者席」で待機してください。

ポスター

1. 各日のポスター掲示の時間内にポスター受付へお越しください。
2. 受付場所 : アクロス福岡 6F ロビー

	9月15日(土)	9月16日(日)
貼付	9:00~9:30	9:00~9:30
閲覧	9:30~14:00	9:30~13:10
討論	14:00~17:00	13:10~16:00
撤去	17:30~18:00	16:30~17:00

3. ポスター掲示ボードに発表者用リボン (青色) と掲示用 PUSH ピンを設置します。発表時間帯になりましたらリボンをご着用ください。

4. 撤去時間終了後の掲示物は不要なもののみなし、処分いたします。

5. ポスター掲示用ボード

1) ボードの大きさは幅90cm×高さ160cmです。演題名、所属、演者名(幅70cm×高さ20cm)は各自でご用意ください。

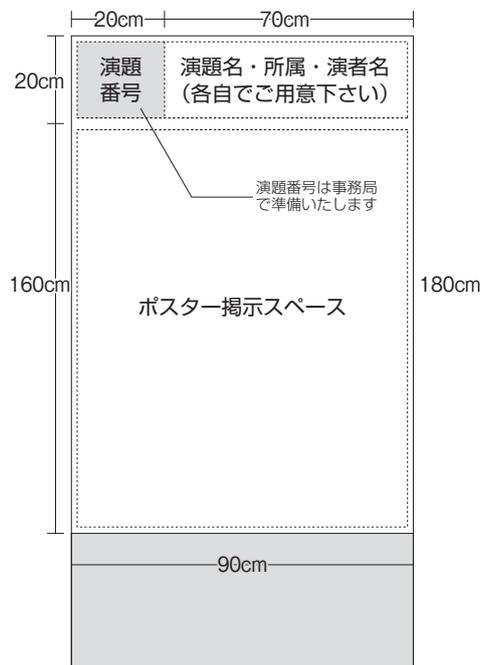
2) 演題番号(20cm×20cm)は会場にご用意いたします。

6. 発表・討論について

1) 発表時間は1題につき、発表3分、討論7分です。ポスター内容が事前に閲覧されていることを前提に、要点のみを簡潔にご説明ください。

2) 発表者は発表予定時間10分前までにポスター会場内で待機してください。

3) 進行は座長の指示にしたがってください。



【お問い合わせ先】

日本心臓血管麻酔学会第12回学術大会 運営事務局担当
株式会社 ICS コンベンションデザイン 九州支局
〒810-0072 福岡市中央区長浜1-1-35 新KBCビル9F
TEL : 092-751-3244 FAX : 092-751-3250
E-mail : jscva@ics-inc.co.jp

日本心臓血管麻酔学会会則

1996年4月1日制定

1997年9月14日改正

1998年11月21日改正

2002年9月13日改正

2006年9月17日改正

第一章 総則

第1条 本会は、日本心臓血管麻酔学会（Japanese Society of Cardiovascular Anesthesiologists；JSCVA）と称する。

第2条 本会は、事務局を東京都新宿区河田町8-1 東京女子医科大学医学部麻酔科学教室内に置く。

第二章 目的

第3条 本会は、心臓血管外科の麻酔および心臓血管疾患を有する患者の麻酔に関する領域の麻酔科学の進歩、発展を図り、各国の心臓血管麻酔学会との連携および国際交流の促進に努めることを目的とする。

第三章 事業

第4条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- 1 学術会議、講演会、講習会などの開催
- 2 会誌の発行
- 3 心臓血管外科の麻酔に関する調査および広報活動
- 4 国際交流の促進に関する業務
- 5 その他、第3条の目的を達成するために必要な事業

第四章 会員

第5条 本会の会員は、正会員および法人会員、名誉会員、海外特別会員とする。

- 2 正会員とは、本会の目的に賛同し、所定の手続きと会費の納入を行い、理事会の承認を受けた者をいう。
- 3 法人会員とは、本会の目的に賛同する正会員以外の個人または団体で、所定の手続きと会費の納入を行い、理事会の承認を受けた者をいう。
- 4 名誉会員、海外特別会員は、常任理事会により推薦され、理事会及び評議員会の承認を得て理事長が委嘱する。

第6条 会員は、会費細則に定めるところにより、会費を納入しなければならない。

- 2 特別の費用を必要とするときは、常任理事会の議決を経て臨時会費を徴収することができる。
- 3 会費はすべて前納とし、既納の会費はいかなる事由があっても返還しない。

第7条 会員は、次に該当する場合、その資格を失う。

- 1 退会を本会事務局に届け出たとき。ただし、既に納入した会費は返還しない。
- 2 引き続き3年以上会費を滞納したとき。
- 3 本会の名誉を傷つける行為があったと常任理事会が判定したとき。

第五章 役員

第8条 本会は、役員として、会長1名、理事長1名、常任理事、理事、評議員、監事2名、事務局長1名、顧問を置く。

- 2 会長は、常任理事会により選出され、理事会に諮り、評議員会および総会の承認を受ける。
- 3 理事長は、常任理事会により選出され、理事会に諮り、評議員会および総会の承認を受ける。
- 4 常任理事は、常任理事より推薦され、理事会及び評議員会の承認を受けて理事長が委嘱する。
- 5 理事は、常任理事より推薦され、理事会及び評議員会の承認を受けて理事長が委嘱する。
- 6 評議員は、常任理事より推薦され、理事会及び評議員会の承認を受けて理事長が委嘱する。
- 7 監事は、常任理事会により選出され、理事会、評議員会および総会の承認を受けて理事長が委嘱する。
- 8 事務局長は、常任理事会により選出され、理事会、評議員会および総会の承認を受けて理事長が委嘱する。
- 9 顧問は、常任理事会により選出され、理事会の議を経て理事長が委嘱する。

第9条 役員の任期は、会長は1年で、理事長、常任理事、理事、評議員、監事、事務局長および顧問は3年とする。

- 2 会長以外の役員は、再任を妨げない。
- 3 補充役員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 4 役員の定年は65歳とする。

第六章 職務

第10条 役員の職務は、次の各号とする。

- 1 会長は、本会を代表し、会務を統括する。また、会長は、学術会議を主催し、学術会議の実務執行のために幹事を指名できる。
- 2 理事長は、常任理事会、理事会および評議員会を総理し、会長を補佐し、会務を執行する。
- 3 常任理事は、常任理事会を組織し、理事長を補佐し、会務を執行する。
- 4 理事は、理事会を組織し、会務全般について審議決定する。
- 5 評議員は、評議員会を組織し、理事会の議決した事項について審議決定する。
- 6 監事は、会務および会計を監査する。
- 7 事務局長は、会長および理事長を補佐し、事務を処理し、会務の執行を助ける。
- 8 顧問は、理事会、評議員会および総会に出席し、意見を述べることができる。ただし、議決権は所有しない。
- 9 幹事は、会長の指揮に従い、学術会議の実務を執行する。

第七章 会議

第11条 本会の会議は、常任理事会、理事会、評議員会、総会とする。

第12条 常任理事会は、会長、理事長、常任理事、監事、事務局長をもって構成され、理事長が召集し、議長となる。

- 2 常任理事会の成立は、構成員の3分の2以上の出席を必要とし、委任状を認める。
- 3 常任理事会の議決は、出席常任理事の3分の2以上を以てする。

第13条 理事会は、会長、前会長、次期会長、理事長、理事、監事、事務局長をもって構成され、理事長が議長となる。

- 2 理事会の成立は、構成員の3分の2以上の出席を必要とし、委任状を認める。
- 3 理事会は毎年1回、理事長が招集する。
- 4 理事会の議決は、出席理事の3分の2以上を以てする。

第14条 評議員会は、会長、前会長、次期会長、理事長、評議員、監事、事務局長をもって構成され、理事長が議長となる。

- 2 評議員会の成立は、構成員の2分の1以上の出席を必要とし、委任状を認める。
- 3 評議員会は毎年1回、総会時に理事長が招集する。
- 4 評議員会の議決は、出席評議員の多数を以てする。

第15条 総会は会長、前会長、次期会長、理事長、監事、事務局長、正会員をもって構成され、会長が議長となり、理事長がこれを補佐する。

- 2 総会の成立は、正会員の10分の1以上の出席を必要とし、委任状を認める。
- 3 総会は毎年1回、会長が招集する。
- 4 総会の議決は、出席正会員の多数を以てする。

第16条 会長は、総会時に学会議を開催する。

- 2 学会議における発表は、会員に限る。ただし、会長の承認を受けた者は、発表を行うことができる。

第八章 委員会

第17条 本会に、常設または臨時の委員会を置くことができる。

- 2 委員長および委員の任免は、常任理事会の審議を経て理事長が定める。
- 3 委員会の開催は、委員長が必要に応じて理事長の承認を受け、招集する。
- 4 委員会の議事録は、委員長がまとめ、常任理事会に報告する。
- 5 委員会の存廃は、常任理事会および理事会の議決を経て評議員会で決定する。
- 6 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

第九章 会計

第18条 本会の会計年度は、毎年4月1日より翌年3月31日までとする。

第19条 本会の経費は、年会費、賛助会費、その他の収入をもってこれに充てる。

第20条 本会の会費は、会費細則に定める。

第21条 本会の資産は、理事長が管理する。

第22条 事務局長は、毎年1回会計報告書を作成し、監事の監査を経て常任理事会、常任理事会、評議員会および総会の承認を得なければならない。

第23条 本会は、必要のある場合、常任理事会および理事会の議決によって特別会計を設けることができる。

第十章 補則

第24条 本会則の改正は、常任理事会および理事会の議決を経て評議員会および総会の承認を得なければならない。

第25条 本会則の施行に必要な細則は、常任理事会で定め、理事会の議決を経て評議員会および総会の承認を得なければならない。

会費細則

第1条 本細則は、日本心臓血管麻酔学会会則第九章第20条の規定に基づき、本会の会費に関して必要な事項を定める。

第2条 本会の会費は、年会費とし、次のとおり前納する。

- 1 正会員：7,000円
- 2 法人会員：一口50,000円（一口以上）

第3条 臨時経費を必要とするときは、臨時会費を徴収することができる。

第4条 本細則の存廃は、総会の承認を受けるものとする。

附 則

- 1 本会則および会費細則は、平成15年1月1日より施行する。

日本心臓血管麻酔学会役員

理事長

武田 純三

監事

畔 政和 並木 昭義

常任理事

小出 康弘	後藤 俱子	秦 恒彦	須加原一博	澄川 耕二	多田 恵一	中馬理一郎	福田 悟
古家 仁	外 須美夫	森田 潔	森田 茂穂				

理事

天羽 敬祐	石部 裕一	一色 淳	伊藤 樹史	稲垣 善三	井上 哲夫	巖 康秀	岩崎 寛
上園 晶一	大江 容子	大下 修造	小川 秀道	尾崎 眞	小田 利通	落合 亮一	尾原 秀史
尾本 良三	貝沼 関志	笠間 晁彦	勝屋 弘忠	加納 龍彦	川真田美和子	川村 隆枝	上村 裕一
菊池 恵子	北島 敏光	許 俊鋭	釘宮 豊城	古賀 義久	後藤 文夫	小西 晃生	齊藤 洋司
坂部 武史	坂本 篤裕	佐藤 重仁	島田 康弘	清水 幸雄	新宮 興	鈴木 利保	諏訪 邦夫
瀬尾 勝弘	瀬尾 憲正	高崎 眞弓	太城 力良	館田 武志	田中 國義	谷藤 泰正	土田 英昭
戸崎 洋子	土肥 修司	外丸 輝明	豊岡 秀訓	中島 幹夫	新見 能成	西川 俊昭	野口 隆之
野坂 修一	畑埜 義雄	花岡 一雄	廣田 和美	福田 和彦	細田 泰之	堀川 秀男	堀本 洋
真下 節	真鍋 雅信	丸山 一男	森本 裕二	山崎 光章	山田 芳嗣	弓削 孟文	横田 美幸
横山 秀男							

評議員

青野 純	赤松 繁	赤松 哲也	安部 和夫	石井 脩夫	石黒 俊彦	石黒 芳紀	石田 和慶
石原 弘規	市瀬 史	一宮 尚裕	井出 雅洋	岩月 矩之	岩出 宗代	岩永 史郎	内田 整
浦田 賢治	大西 佳彦	岡崎 敦	岡本 浩嗣	小野 和身	渡橋 和政	何 廣臣	垣花 学
樫本 温	片山 勝之	金谷 憲明	上川 雄士	川上 裕理	川口 昌彦	河内 正治	川村 光喜
木倉 睦人	岸 義彦	北口 勝康	北畑 洋	木内 恵子	木村 邦之	金 信秀	国澤 卓之
公文 啓二	黒川 智	神山 有史	小坂 誠	後藤 慎一	後藤 隆久	小山 薫	齋藤 重行
齐藤 範建	佐伯 晋成	三枝 宏彰	坂本 浩	笹井 三郎	佐藤 正光	讚岐美智義	澤井 俊幸
清水 斎	下田 栄彦	釈永 清志	白石 義人	清野 雄介	関 誠	瀬戸 甲蔵	仙石 和文
其田 一	高尾あや子	高木 治	高田 勝美	鷹取 誠	高橋 幸雄	田川 学	竹内 護
竹田 清	坪川 恒久	照井 克生	當房 和己	内藤 嘉之	中木村和彦	中谷 敏	西田 博
西村 欣也	西和田 誠	野村 岳志	野村 亮一	萩平 哲	橋本 悟	蓮尾 浩	羽鳥 文磨
馬場 瑛逸	浜谷 和雄	林 行雄	原 克実	原 哲也	原澤 克巳	尾藤 博道	藤瀬久美子
藤本 啓子	堀口 良二	堀部まゆみ	又吉 康俊	松川 公一	松田 直之	松永 明	真弓 享久
水嶋 章郎	溝部 俊樹	満瀬 哲郎	宮坂 勝之	宮脇 宏	武藤 純	村田 洋	森 美也子
森本 直樹	柳下 芳寛	安本 和正	山田 達也	山近 史郎	行岡 秀和	吉岡 斉	吉川 大輔
吉田 啓子	依光たみ枝	渡邊 誠之	渡辺 敏光				

名誉会員

小川 龍 奥村福一郎 加藤 浩子 熊澤 光生 劔物 修 鈴木 英弘

海外顧問

Daniel M.Thys	Edward Lowenstein	Joel A Kaplan	John L Waller
Kinichi Shibutani	Mark H Ereth	Martin D Abel	Sait Tarhan
Steven Konstadt	Thara Tritrakarn	Yasu Oka	

事務局長

野村 実

敬称略 五十音順

Cardiovascular Anesthesia (学会機関誌) 投稿規定

1. 本誌は日本心臓血管麻酔学会 (Japanese Society of Cardiovascular Anesthesiologists : JSCVA) の機関誌であり、心臓血管麻酔学の専門性を高めることと、心臓血管麻酔管理の向上を目的とする。
2. 本誌の構成は、和文、英文の原著、総説、症例、紹介、医学記録、その他からなる。投稿論文は他誌に未発表で、投稿中でないものに限るが、ワークショップ、パネルディスカッション、教育講演などは其の限りではない。
3. 原稿の採否は、査読により「Cardiovascular Anesthesia」編集委員で決定する。
投稿料は刷り上がり4頁を超える場合は1頁につき10,000円を著者負担とする。掲載を急ぐ場合は特別掲載とし有料となる。(発刊時期については、事務局に問い合わせください。)
投稿原稿の別刷りは30部(表紙なし)までは無料で、これを超える場合は実費全額負担となる。
4. 投稿原稿について
 - 1) 原稿は以下の要領でA4用紙に記載する。
 - (1) タイトル
表題、著者名、所属機関名とその所在地、そのTel No. Fax No. E-mail address, 校正送付先が所属機関と異なる場合は校正送付先を必ず記載する。
 - (2) 本文
本文は改めて別紙から記述し始めること。要旨(200~300字)、緒言(はじめに)、方法、結果、考案、結語(まとめ)、文献の順序で記述する。
(原著)
和文では400字詰めA4用紙10,000字以内とする。これには要旨、引用文献も含むものとする。
英文ではA4×25行のダブルスペースで12枚以内とする。原稿の様式はA4用紙に左右、上下に各2cm以上の余白を空け、タイプライター(Elite, Pica)またはワードプロセッサ(10,12ポイント)を用いる。スペースを含めて50字以内の省略表題(running title)を書くこと。
(症例)
和文では400字詰め原稿用紙、16枚以内で要旨および引用文献を含む。英文ではA4×25行のダブルスペースで8枚以内とする。上記の枚数は、図、表、写真、文献を含んだ枚数である。
規定枚数を超え場合、または図表で写植を必要とする場合は投稿者の実費負担になる。
 - (3) 参考文献は、引用順序に番号を付し、本文の文尾にまとめて記載する。引用文献の著者名は全員を記載とする。
また、総説以外の文献数は30以内とする。引用誌名は、日本医学図書館協会編の日本医学雑誌略名表、Index Medicusに従う。文献引用の責任は著者に帰属する。
 - (4) 図表と写真
図表と写真はオリジナル原稿と別にまとめ、挿入箇所はオリジナル原稿に朱記し、既に、他誌に発表されている図表、写真を掲載する場合には、出典、著者名を必ず明記すること。図表を写真で提出する場合はその大きさはキャビネ版を原則とし、そのまま印刷可能な明瞭なものに限る。図表、写真はテキストファイルでは保存出来ません。
- 2) 投稿原稿の内容が他誌に未発表であり、現在投稿中でない旨を明記する。
別紙を参照のこと。(誓約書参照)ワークショップ、パネルディスカッション、教育講演などは其の限りではない。
- 3) 本文とは別に、英文の表題、著者名、所属機関名、および所在地、400~800words以内の英文抄録、5words以内のKey Wordsを必ず添付すること。

英文論文と英文抄録は英語を常用語とする人のチェックを受け、英文論文の場合は、日本語による要旨(200～300字)を添付する。

- 4) 人名は原語で、動物名はカタカナ、薬品名は一般名で記し、商品名を記入する場合には一般名の後に()で記入する。
- 5) 数字は算用数字で、それぞれの単位の表示はCGS単位かSI単位のいずれかを使用して記述する。
- 6) 図、表、写真の内容、説明は和文か英文に統一し、図表、写真に番号を付し、別紙に一括して記述する。図、表、写真の挿入箇所は原稿の欄外に朱筆で明記する。カラー写真の掲載を希望される場合には、投稿者の実費負担となる。

7) 投稿にあたって提出原稿はE-mailのみで可とする

8) 提出原稿に関して

A. 郵送(簡易書留)

オリジナル1部、原稿ファイルのフロッピーディスクを提出する。

フロッピーディスクについて

- ① 3.5インチの2HD、2DDのフロッピーディスクを使用し、Windows, Macintosh テキストファイルまたはEgword, Microsoft Office word はアプリケーションのままで文字原稿を保存する。
- ② フロッピーラベルに表題、筆頭著者名、ファイル名、そしてWindows, Macintoshの別を必ず記入する。
- ③ 改行のマークは段落の最後のみとする。段落の途中で行頭を揃えるタブやスペースは入れないこと。
- ④ 数字、欧文は半角で入力し、欧文の単語と単語間のスペースも半角で入力する。半角のひらがな及びカタカナは使用しないこと。

B. E-mail 投稿について

- ① 文字原稿はWindows, Macintosh テキストファイルまたはEGword, Microsoft Office word はアプリケーションのままで保存したファイルを添付書類として送付する。
 - ② 図・表はMicrosoft Office2000・Microsoft Office98(Windows, Macintosh)のWord, Excel, Power pointのアプリケーションのまま、あるいはPDFフォーマットで保存し添付書類として送付する。尚、1M以上のものはM.O.で保存して郵送すること。
- 9) 著者校正は原則として一回のみとする。
数式、外字、修飾文字、上付、下付などの文字は、著者校正時に必ず修正する。

10) 採用原稿は原則として返却しない。

日本心臓血管麻酔学会学術大会の発表の著作権及び肖像権、本誌に掲載された著作物の著作権は著者から日本心臓血管麻酔学会に帰属する。

5. 参考文献及び引用文献に関して

雑誌の場合：著者名、題名、誌名(正式略称)発行年(西暦)；巻数：開始頁－終了頁

書籍の場合：著者名、章名、編集者名、書名、(巻数・版数)発行都市名；出版社名；発行年(西暦)、開始頁－終了頁(略記)

6. ヒトにたいして行われた研究については患者、被験者の承認、ならびに所属機関(施設)の承認を受けた旨を方法の項に必ず記載する。また、動物実験においても、動物愛護の面から十分に考慮されたものであることが必要である。

7. 原稿送付先

〒162-8666 東京都新宿区河田町8-1

東京女子医科大学医学部麻酔科学教室内「日本心臓血管麻酔学会誌」編集室

TEL：03-3353-8111(内線39311、39312)・FAX：03-5269-7336

E-mail：jscva@anes.twmu.ac.jp

誓約書（見本）

日本心臓血管麻酔学会機関誌（Cardiovascular Anesthesia）

編集委員会 殿

下記投稿論文は、その内容が過去に他誌に掲載されたり、現在も掲載予定（投稿中のものでない）がないことを誓約いたします。

論文名

著者名（共著者全員を含む）：署名捺印のこと

- | | | | |
|----|---|-----|---|
| 1. | Ⓔ | 6. | Ⓔ |
| 2. | Ⓔ | 7. | Ⓔ |
| 3. | Ⓔ | 8. | Ⓔ |
| 4. | Ⓔ | 9. | Ⓔ |
| 5. | Ⓔ | 10. | Ⓔ |

B5 版用紙を使用すること

日本心臓血管麻酔学会公式ホームページ掲載規定

1. 資格

日本心臓血管麻酔学会公式ホームページ(以下、学会ホームページ)に情報の掲載を希望する者(以下、申込者)は、日本心臓血管麻酔学会員である必要があります。

2. 掲載内容

学会ホームページに掲載する内容は、心臓血管麻酔の診療、教育、または研究に有用な情報、あるいは一般(会員以外)や患者さんにとって有用な情報である必要があります。

3. 掲載申込および審査

申込者は、掲載希望内容を具体的に記載して、学会ホームページ管理者アドレス webmaster@jscva.org 宛に電子メールを送って下さい。

4. 内容審査

学会ホームページ管理者は、申請書類をホームページ担当常任理事(以下、担当理事)に転送します。審査は常任理事が行い、10日以内に担当理事より情報化委員会宛に結果が通知されます。この通知を受けて、情報化委員会は申込者に審査結果を報告します。審査に合格した場合は、附則1に従ってホームページの掲載内容を作成して下さい。

5. 情報の仮掲載および確認

情報化委員会は、作成した情報を非公開の URL (Uniform Resource Locator) で指定される仮ホームページに掲載し、その URL を申込者および担当理事に通知します。仮ホームページに掲載された情報は、1週間の期間内で常任理事が内容確認を行います。確認の結果は、担当理事から情報化委員会に通知されます。また、確認と同時に、公開の対象を一般向けとするか会員専用とするかについても協議を行います。

6. 情報の本掲載

公開に支障がないと判断された情報は、正式に学会ホームページに掲載し、その旨、申込者に通知します。修正が必要と判断された場合は、修正の後、再度仮掲載にて内容確認を行います。なお、情報化委員会は学会ホームページ全体の体裁を整える目的で、申込者が作成した html (HyperText Markup Language) ファイルの一部を修正することがあります。

7. 情報の更新および掲載期間

情報の掲載期間は、原則として6ヶ月とします。6ヶ月以上掲載を希望する場合は、申込時に申請して下さい。

8. 情報に関する著作権と責任

掲載する内容の著作権は申込者に帰属します。内容に関する責任は日本心臓血管麻酔学会および申込者が負います。また、作成したページ内に、申込者のメールアドレスを必ず挿入して下さい。

附則1. 掲載内容の作成

掲載する情報は、原則として掲載申込者が html ファイルを作成して下さい。掲載申込者が html ファイルを作成できない場合は、代わりに、掲載する内容を詳細に記入したテキストファイルや図表、ページのレイアウト案などを送付して下さい。情報化委員会の予算で html ファイルの作成を行います。なお、ファイルの作成にあたっては、個人あるいは団体のプライバシーを侵害しないように特に注意してください。

附則2. 年次学術大会に関する情報

年次学術大会・総会に関する情報は、情報化委員会が公式ホームページ内に専用の URL を設定します。内容に関しては、担当施設の責任で作成し掲載を行うこととします。

附則3. 各委員会からの情報提供

各委員会に関する情報は、委員長名で情報化委員会に申請して下さい。

(2000年10月1日作成)

1日目

9月15日(土)

	第1会場 4F 国際会議場	第2会場 7F 大会議室	第3会場 6F 606会議室
8:00			
9:00		開会挨拶 9:20~9:30	ポスター貼付 9:30~17:30
10:00	TEEセミナー① 9:30~11:30 受験直前コース1 症例提示ならびに問題 演者：山田達也、金 信秀 能見俊浩、大西佳彦 司会：小出康弘	パネルディスカッション① 9:30~11:30 あなたが拓く、血栓・止血の制御 —心臓血管麻酔における展望— 演者：木倉陸人、石黒芳紀、叶多知子 紅露伸司、香取信之 司会：木倉陸人、石黒芳紀	ポスター 掲示 (17題)
11:00			
12:00	理事・評議員会 11:45~12:15 総 会 12:15~12:45	教育講演① 11:45~12:30 知識と技術を継承できる基盤 演者：信友浩一 司会：山本達郎	一般演題 先天性心疾患1 先天性心疾患2 先天性心疾患3
13:00	ランチョンセミナー① 13:00~13:45 開心術にPDEⅢ阻害薬は必要か 演者：新井丈郎 司会：野村 実 (エーザイ)	ランチョンセミナー② 13:00~13:45 心臓血管手術時の脳保護戦略 演者：岡本浩嗣 司会：満瀬哲郎 (エドワーズ ライフサイエンス)	
14:00	藤田昌雄賞候補 14:00~15:00 (5題) 座長：外 須美夫	文献レビュー 14:00~16:00 演者：木下浩之、釈永清志 尾前 毅、松田直之 司会：松田直之	14:00~16:50 一般演題 (ポスター発表)
15:00	教育講演② 15:00~15:45	教育講演② Dexmedetomidine and its advantageous in pediatric cardiac patients 演者：Suhaini Kadiman 司会：野村 実	
16:00	教育講演③ 15:45~16:30 左心低形成症候群への挑戦 演者：角 秀秋 司会：外 須美夫		
17:00	藤田昌雄賞授賞式 16:45~17:00		
18:00	イブニングセミナー① 17:15~18:00	イブニングセミナー② 17:15~18:00	ポスター撤去
19:00	イブニングセミナー① Spinal cord monitoring during thoracoabdominal aortic aneurysm surgery 演者：Cor J. Kalkman 司会：垣花 学 (テルモ、日本光電、村中医療)	イブニングセミナー② 心臓血管外科術後における プレセデックスの有用性 —成人例と小児例— 演者：安宅一晃 司会：上園晶一 (ホスピーラ ジャパン)	
20:00			

第4会場 6F 607会議室	第5会場 6F 608会議室	第6会場 6F 601/602/604/605会議室	第7会場 2F 交流ギャラリー	展示会場 4Fロビー 7Fロビー	7F 701/702 会議室
ポスター貼付 9:30~17:30	ポスター貼付 9:30~17:30			総合受付 クロック	
ポスター 掲示 (17題)	ポスター 掲示 (12題)	10:00~11:30 TEE ワークショップ ① (602/604/605会議室)		医療機器展示	医療機器展示
一般演題 アレルギー・ 止血・凝固 サイトカイン・ICU 合併症1・医療経済	一般演題 運動誘発電位 脳酸素飽和度	超初心者TEEワークショップ① 向井詩保子、平崎祐二 深町きく代、富田優子 車 武丸、和田浩輔 牧野有里子 司会：野村 実		医療機器展示	ドリンクサービス・書籍展示販売
14:00~16:50 一般演題 (ポスター発表)	15:00~17:00 一般演題 (ポスター発表)		14:00~17:00 人工心肺 ワークショップ 初学者のための CPB早分かり講座 演者：赤地 吏 百瀬直樹 河村 真 吉川貴則 尾崎 暁 田山榮基 司会：新見能成 田山榮基	医療機器展示	ドリンクサービス・書籍展示販売
ポスター撤去	ポスター撤去			医療機器展示	ドリンクサービス・書籍展示販売
		18:00~20:00 CVC ワークショップ (601/602会議室)	レジデントのための 中心静脈カテーテル挿入 ワークショップ 中心静脈カテーテル挿入を 安全に行うには 演者：渡部 修、森野良蔵 司会：野村 実 (アロウジャパン)	医療機器展示	ドリンクサービス・書籍展示販売

2日目

9月16日

	第1会場 4F 国際会議場	第2会場 7F 大会議室	第3会場 6F 606会議室
7:00			
8:00	アーリーバードセミナー 8:00~8:45 心臓麻酔におけるレミフェンタニルの使用経験 演者：池崎弘之 司会：稲田英一 (ヤンセンファーマ)		
9:00	教育講演④ 9:00~9:45 分化と統合の知恵 -麻酔科専門医は必要か?- 演者：高橋成輔 司会：武田純三	シンポジウム 9:00~12:00 心臓手術後の脳障害を 軽減できるか? 基調講演：Cor J. Kalkman 司会：古家 仁 演者：吉谷健司、馬場知子、 門井雄司、垣花泰之、 川口昌彦 司会：後藤俱子、坂部武史	ポスター貼付 9:30~16:30 ポスター 掲示 (17題)
10:00	TEEセミナー② 10:00~12:00 受験直前コース2 症例提示ならびに問題 演者：小出康弘、岡本浩嗣、 渡橋和政、黒川 智 司会：大西佳彦		
11:00	ランチョンセミナー③ ディベート(セボフルランorプロポフォル) 演者：鈴木昭広、高木俊一、宮田裕史、 松本尚浩、尾前 毅、山本笑梨 司会：佐多竹良 (丸石製薬、アボットジャパン)	ランチョンセミナー④ 血管手術の周術期管理における 短時間作用性β1遮断薬の役割 演者：土田英昭 司会：山崎光章 (小野薬品工業)	
12:00	ランチョンセミナー③ 12:15~13:00	ランチョンセミナー④ 12:15~13:00	一般演題 合併症2 合併症3 心不全・循環補助
13:00	教育講演⑤ 13:15~14:00 単心室患者の治療 フォンタン循環の特徴と術後遠隔期の患者QOL 演者：石川司朗 司会：内田 整	教育講演⑥ 13:15~14:00 心臓・大血管症例における麻酔関連偶発症 演者：入田和男 司会：森田 潔	
14:00	パネルディスカッション② 14:00~16:00 先天性心疾患患者、 非心臓手術時の麻酔管理 -repaired heart- 演者：西村欣也、岩崎達雄、 奥山克巳、三浦倫一 コメンテーター：石川司朗 司会：堀本 洋、満瀬哲郎	パネルディスカッション③ 14:00~16:00 心臓麻酔における医療安全管理を 確立させるには -裁判事例から学ぶ- 基調講演：遠藤直哉 演者：南 茂、讃岐美智義、野村 実 コメンテーター： 武田純三、信友浩一、森田 潔、 入田和男 司会：森田茂徳	13:10~16:00 一般演題 (ポスター発表)
15:00			
16:00	閉会挨拶 16:00~16:10		
17:00			ポスター撤去

第4会場 6F 607会議室	第5会場 6F 608会議室	第6会場 6F 601/602/604/605会議室	展示会場 4Fロビー 7Fロビー		7F 701/702 会議室
					7:00
					8:00
					9:00
ポスター貼付 9:30~16:30 ポスター 掲示 (17題)	ポスター貼付 9:30~16:30 ポスター 掲示 (17題)				10:00
一般演題 周術期管理 自己血輸血・ 大血管緊急手術 大血管手術	一般演題 OPCAB TEE1 TEE2・モニタリング	10:30~12:00 TEE ワークショップ ② (602/604/605会議室)	総合受付 ・クロック 医療機器展示	医療機器展示	ドリンクサービス・ 書籍展示販売
					11:00
		超初心者TEE ワークショップ② 向井詩保子 平崎祐二 深町きく代 富田優子 車 武丸 和田浩輔 牧野有里子 司会：山田達也			12:00
13:10~16:00 一般演題 (ポスター発表)	13:10~16:00 一般演題 (ポスター発表)				13:00
					14:00
					15:00
					16:00
ポスター撤去	ポスター撤去				17:00

プログラム

教育講演①**9月15日** 土 11:45~12:30 [第2会場(大会議室)]

司会：山本 達郎(熊本大学医学部 麻酔科)

知識と技術を継承できる基盤

○信友 浩一

九州大学大学院医学研究院 医療システム学分野

教育講演②**9月15日** 土 15:00~15:45 [第1会場(国際会議場)]

司会：野村 実(東京女子医科大学医学部 麻酔科学教室)

Dexmedetomidine and its advantageous in pediatric cardiac patients

○Suhaini Bin Kadiman, MD

Consultant Anaesthesiologist, Department of Anaesthesiology, Institut Jantung Negara, Malaysia

教育講演③**9月15日** 土 15:45~16:30 [第1会場(国際会議場)]

司会：外 須美夫(北里大学医学部 麻酔科)

左心低形成症候群への挑戦

○角 秀秋

福岡市立こども病院・感染症センター 心臓血管外科

教育講演④**9月16日** 日 9:00~9:45 [第1会場(国際会議場)]

司会：武田 純三(慶應義塾大学医学部 麻酔学教室)

分化と統合の知恵 —麻酔科専門医は必要か?—

○高橋 成輔

独立行政法人国立病院機構 九州医療センター

教育講演⑤**9月16日** 13:15~14:00 [第1会場(国際会議場)]

司会：内田 整(大阪大学医学部 麻酔・集中治療医学講座)

単心室患者の治療／フォンタン循環の特徴と術後遠隔期の患者 QOL

○石川 司朗

福岡市立こども病院・感染症センター 循環器科

教育講演⑥**9月16日** 13:15~14:00 [第2会場(大会議室)]

司会：森田 潔(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 麻酔・蘇生学教室)

心臓・大血管症例における麻酔関連偶発症

○入田 和男

(社)日本麻酔科学会安全委員会偶発症例調査ワーキンググループ、九州大学大学院医学研究院 麻酔・蘇生学

シンポジウム**9月16日** 9:00~12:00 [第2会場(大会議室)]

司会：古家 仁(奈良県立医科大学 麻酔科学教室)

基調講演**Neurologic Complications of Cardiac Surgery**

○Cor J. Kalkman, MD, PhD

Department of Anesthesiology, Division of Perioperative Care and Emergency Medicine,
University Medical Center, Utrecht, The Netherlands**心臓手術後の脳障害を軽減できるか?**

司会：後藤 俱子(熊本中央病院 健診センター)

坂部 武史(山口大学医学部 麻酔蘇生学)

s-1 心臓手術後の脳障害発生とそのメカニズム

○吉谷 健司

国立循環器病センター 麻酔科

s-2 心臓手術における術前評価と術後脳障害

○馬場 知子

熊本中央病院 麻酔科

s-3 心臓手術における術中モニタリングと術後脳障害

○門井 雄司
群馬大学医学部 麻酔神経科学

s-4 心臓手術後の脳障害とバイオマーカー

○垣花 泰之
鹿児島大学医学部・歯学部附属病院 集中治療部

s-5 心臓手術後の脳傷害の予防策

○川口 昌彦
奈良県立医科大学 麻酔科学教室

パネルディスカッション①

9月15日 土 9:30~11:30 [第2会場(大会議室)]

司会：木倉 睦人(県西部浜松医療センター 麻酔科)
石黒 芳紀(帝京大学医学部 麻酔科学講座(集中治療部))

あなたが拓く(ひらく)、血栓・止血の制御 —心臓血管麻酔における展望—**PD-1-1** 血栓・止血へのアプローチと、将来求められるエビデンス —提言—

○木倉 睦人
県西部浜松医療センター 麻酔科

PD-1-2 血栓・止血へのアプローチと、将来求められるエビデンス —展望—

○石黒 芳紀
帝京大学医学部 麻酔科学講座(集中治療部)

PD-1-3 冠動脈バイパス手術とアスピリン

○叶多 知子
関西医科大学 麻酔科

PD-1-4 周術期の血小板、血液凝固・線溶管理 —臨床研究とその問題点

○紅露 伸司
豊平整形外科 麻酔科

PD-1-5 心臓外科手術における輸血代替療法

○香取 信之
慶應義塾大学医学部 麻酔学教室

パネルディスカッション②

9月16日 日 14:00~16:00 [第1会場(国際会議場)]

司会：堀本 洋(静岡県立こども病院 麻酔科)

満瀬 哲郎(熊本市立熊本市市民病院 麻酔科)

コメンテーター：石川 司朗(福岡市立こども病院・感染症センター 循環器科)

先天性心疾患患者、非心臓手術時の麻酔管理 — repaired heart —

PD-2-1 当院における先天性心疾患患者の非心臓手術麻酔管理について

○西村 欣也

順天堂大学医学部 麻酔科学

PD-2-2 先天性心疾患患者、非心臓手術時の麻酔管理 — repaired heart —

○岩崎 達雄

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 麻酔・蘇生学教室

PD-2-3 単心室姑息術後、生じた壊死性腸炎に対する腸管切除術の麻酔経験

○奥山 克巳

山梨大学医学部 麻酔科

PD-2-4 先天性心疾患患者の麻酔に困難を生じた一例

○三浦 倫一

横浜市立大学附属病院 麻酔科

パネルディスカッション③**9月16日** 14:00~16:00 [第2会場(大会議室)]

司会：森田 茂穂(帝京大学医学部 麻酔科)

コメンテーター：武田 純三(慶應義塾大学医学部 麻酔学教室)

信友 浩一(九州大学大学院医学研究院 医療システム学)

森田 潔(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 麻酔・蘇生学教室)

入田 和男(九州大学大学院医学研究院 麻酔・蘇生学)

心臓麻酔における医療安全管理を確立させるには —裁判事例から学ぶ—**PD-3-1 医療安全管理の法律的側面**基調講演 ○遠藤 直哉
フェアネス法律事務所**PD-3-2 体外循環の医療安全を確立するには**○南 茂
東京女子医科大学 臨床工学部**PD-3-3 心臓麻酔における IT による医療安全管理の将来**○讃岐美智義
広島大学病院 麻酔・疼痛治療科**PD-3-4 人的要因と手術室の安全**○野村 実
東京女子医科大学医学部 麻酔科学教室

文献レビュー**9月15日** 14:00~16:00 [第2会場(大会議室)]

司会：松田 直之(京都大学大学院医学研究科 初期診療・救急医学分野)

文献レビュー 1 基礎研究の話題：酸化ストレスと心不全

○木下 浩之

和歌山県立医科大学 麻酔学教室

文献レビュー 2 小児心臓麻酔の話題

○積永 清志

富山大学大学附属病院 麻酔科

文献レビュー 3 成人心臓麻酔の話題

○尾前 毅

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 侵襲制御学講座

文献レビュー 4 周術期管理の話題：免疫グロブリン製剤の位置付け

○松田 直之

京都大学大学院医学研究科 初期診療・救急医学分野

TEE セミナー①**9月15日** 9:30~11:30 [第1会場(国際会議場)]

司会：小出 康弘(横浜市立大学医学部附属市民総合医療センター 麻酔科)

受験直前コース1 症例提示ならびに問題**左室収縮、拡張機能の定量評価**

○山田 達也

慶応義塾大学医学部 麻酔科

心腔内病変とアーチファクト

○金 信秀

東京大学大学院 医学系研究科 外科学専攻生体管理医学講座麻酔学

冠動脈バイパス術(OPCABを中心に)

○能見 俊浩

国立循環器病センター 麻酔科

人工弁置換術、弁形成術後の評価

○大西 佳彦
国立循環器病センター 麻酔科

TEE セミナー②

9月16日(日) 10:00~12:00 [第1会場(国際会議場)]

司会：大西 佳彦(国立循環器病センター 麻酔科)

受験直前コース2 症例提示ならびに問題

僧帽弁狭窄、逆流症

○小出 康弘
横浜市立大学医学部附属市民総合医療センター 麻酔科

大動脈弁狭窄、逆流症

○岡本 浩嗣
北里大学医学部 麻酔科学

大血管病変

○渡橋 和政
広島大学大学院 医歯薬学総合研究科 展開医科学専攻制医科学講座外科学

先天性心疾患

○黒川 智
新潟大学大学院 生体機能調節医学専攻 器官制御医学講座麻酔科学分野

TEE ワークショップ①**9月15日** 10:00~11:30 [602・604・605会議室(6F)]

司会：野村 実(東京女子医科大学医学部 麻酔科学教室)

コメンテーター：向井詩保子、平崎 祐二、深町きく代、富田 優子、
車 武丸、和田 浩輔、牧野有里子
(東京女子医科大学医学部 麻酔科学教室)**超初心者のための TEE ワークショップ①**

1. TEE をはじめる前に(プローブ、エコー装置)
2. 基本操作と標準画像(基礎的な解剖)
3. 臨床での TEE 活用(心機能評価)

TEE ワークショップ②**9月16日** 10:30~12:00 [602・604・605会議室(6F)]

司会：山田 達也(慶応義塾大学医学部 麻酔学教室)

コメンテーター：向井詩保子、平崎 祐二、深町きく代、富田 優子、
車 武丸、和田 浩輔、牧野有里子
(東京女子医科大学医学部 麻酔科学教室)**超初心者のための TEE ワークショップ②**

1. TEE をはじめる前に(プローブ、エコー装置)
2. 基本操作と標準画像(基礎的な解剖)
3. 臨床での TEE 活用(心機能評価)

人工心肺ワークショップ

9月15日(土) 14:00~17:00 [交流ギャラリー(2F)]

司会：新見 能成 (板橋中央総合病院 麻酔科)
田山 栄基 (久留米大学病院 心臓血管外科)

初学者のための CPB 早分かり講座

体外循環の基礎

○赤地 吏
帝京大学医学部附属病院 臨床工学部

人工心肺に関する最近の医療事故

○百瀬 直樹
自治医科大学大宮医療センター 臨床工学部

小児の CPB

○河村 真
埼玉県立小児医療センター 麻酔科

左心低形成症候群に対する分離送血体外循環

○吉川 貴則
福岡市立こども病院・感染症センター 臨床工学部

IABP の基礎

○尾崎 暁
エドワーズライフサイエンス株式会社 VCC マーケティング部
カーディアックアシストグループグループ

IABP の臨床

○田山 栄基
久留米大学病院 心臓血管外科

レジデントのための中心静脈カテーテル挿入ワークショップ(アロウジャパン)**9月15日** 土 18:00~20:00 [601・602会議室(6F)]

司会：野村 実(東京女子医科大学医学部 麻酔科学教室)

中心静脈カテーテル挿入を安全に行うには

- 渡部 修
佐久総合病院 救命救急センター
- 森野 良蔵
東京女子医科大学医学部 麻酔科学教室

ランチョンセミナー①(エーザイ)**9月15日** 土 13:00~13:45 [第1会場(国際会議場)]

司会：野村 実(東京女子医科大学医学部 麻酔科学教室)

開心術に PDE Ⅲ阻害薬は必要か

- 新井 丈郎
独協医科大学越谷病院 麻酔科

ランチョンセミナー②(エドワーズライフサイエンス)**9月15日** 土 13:00~13:45 [第2会場(大会議室)]

司会：満瀬 哲郎(熊本市立熊本市民病院 麻酔科)

心臓血管手術時の脳保護戦略 ～近赤外線分光法による局所組織酸素飽和度の意義～

- 岡本 浩嗣
北里大学医学部 麻酔科学

ランチョンセミナー③(丸石製薬、アボットジャパン)**9月16日** 日 12:15~13:00 [第1会場(国際会議場)]

司会：佐多 竹良(産業医科大学医学部 麻酔科学教室)

ディベート(セボフルラン or プロポフォール)

- セボ派 ○鈴木 昭広
旭川医科大学医学部 麻酔科
- 高木 俊一
東京女子医科大学医学部 麻酔科学教室
- 宮田 裕史
琉球大学医学部 麻酔科

- プロボ派 ○松本 尚浩
産業医科大学医学部 麻酔科学教室
- 尾前 毅
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 侵襲制御学講座
- 山本 笑梨
大阪府立急性期医療センター 麻酔科

ランチョンセミナー④(小野薬品工業)

9月16日(日) 12:15~13:00 [第2会場(大会議室)]

司会：山崎 光章(富山大学医学部 麻酔科)

血管手術の周術期管理における短時間作用性 β 1遮断薬の役割

- 土田 英昭
金沢医科大学 麻酔科

イブニングセミナー①(テルモ、日本光電、村中医療器)

9月15日(土) 17:15~18:00 [第1会場(国際会議場)]

司会：垣花 学(琉球大学医学部 麻酔科)

Spinal cord monitoring during thoracoabdominal aortic aneurysm surgery

- Cor J. Kalkman
Department of Anesthesiology, Division of Perioperative Care and Emergency Medicine,
University Medical Center, Utrecht, The Netherlands

イブニングセミナー②(ホスピーラジャパン)

9月15日(土) 17:15~18:00 [第2会場(大会議室)]

司会：上園 晶一(東京慈恵会医科大学 麻酔科)

心臓血管外科術後におけるプレセデックスの有用性 —成人例と小児例—

- 安宅 一晃
兵庫医科大学 集中治療医学教室

アーリーバードセミナー(ヤンセンファーマ)

9月16日(日) 8:00~8:45 [第1会場(国際会議場)]

司会：稲田 英一(順天堂大学医学部 麻酔科学・ペインクリニック講座)

心臓麻酔におけるレミフェンタニルの使用経験

- 池崎 弘之
大和成和病院 麻酔科

藤田昌雄賞候補

9月15日(土) 14:00~15:00 [第1会場(国際会議場)]

藤田昌雄賞候補

座長：外 須美夫(北里大学医学部 麻酔科)

FP-01 経食道心エコー法で得られる左室壁の integrated backscatter (IB) 信号はストレインと関連する

○稲村実穂子、高良麻紀子、斉藤美和子、新見 能成

板橋中央総合病院 麻酔科

FP-02 容量負荷が左室同期性に与える影響～3D TEE による検討○笹川 智貴¹⁾、岩出 宗代²⁾、平崎 裕二²⁾、庄司詩保子²⁾、清野 雄介²⁾、岩崎 寛¹⁾、
野村 実²⁾、尾崎 真²⁾

1) 旭川医科大学医学部 麻酔蘇生科、2) 東京女子医科大学医学部 麻酔科

FP-03 冠動脈再建術におけるせん妄の予測因子○大友 純¹⁾、馬場 知子¹⁾、前川 謙悟¹⁾、吉武 淳¹⁾、後藤 俱子²⁾

1) 熊本中央病院、2) 熊本中央病院 健診センター

FP-04 冠動脈バイパス術後のせん妄と Bispectral Index、局所脳酸素飽和度との関連○山下 敦生、石田 和慶、吉富 郁、古賀 麻美、小泉有美馨、若松 弘也、松本美志也、
坂部 武史

山口大学医学部附属病院 麻酔科蘇生科

FP-05 手術中の発作性心房細動および発作性上室性頻拍に対する薬理的除細動、電気的除細動の検討

○岡村 健太、小出 康弘、奥谷 圭介、佐藤美菜子、藤本 啓子、岡崎 薫

公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センター 麻酔科

一般演題 ポスター

9月15日(土) 14:00~15:00 [第3会場(606会議室)]

先天性心疾患1

座長：新崎 康彦(沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 麻酔科)

P1-01 Blalock-Taussig シャントの開存・閉塞による経頭蓋脳血流ドップラーの変化○朝元 雅明¹⁾、金 信秀¹⁾、大野 長良¹⁾、室屋 充明¹⁾、蜷川 純¹⁾、林田 真和²⁾、
山田 芳嗣¹⁾

1) 東京大学医学部 麻酔学教室、2) 埼玉医科大学 国際医療センター 麻酔科

P1-02 心房中隔欠損口(ASD)閉鎖術症例の麻酔

○大西 佳彦、能見 俊浩、新澤 正秀、宮崎 明子

国立循環器病センター 麻酔科

P1-03 Long-segment な大動脈縮窄により重度の僧帽弁閉鎖不全を合併した3ヶ月女児の症例

○並木 正伸

市立江別病院(前 市立旭川病院)麻酔科

P1-04 BT シャント後の感染性仮性動脈瘤切除の麻酔経験

○小池 麻美、佐々木利佳、寺田美緒子、山崎 光章

富山大学大学院医学薬学研究部 麻酔科学講座

P1-05 MUF 施行時の局所脳組織酸素飽和度の変化ー Glenn・Fontan 手術と ASD・VSD 手術との比較

○兵頭亜紀子、岡本 浩嗣、外 須美夫

北里大学医学部 麻酔科学

P1-06 福岡市立こども病院・感染症センターの四半世紀：心臓血管麻酔の変遷

○野口亜紀子、自見 宣郎、住吉理絵子、水野圭一郎、森本 文子、秦 恒彦

福岡市立こども病院・感染症センター 麻酔科

一般演題 ポスター**9月15日** 14:00~15:00 [第4会場(607会議室)]

アレルギー・止血・凝固

座長：坂口 嘉郎(九州大学病院 麻酔科蘇生科)

P1-18 コハク酸エステル型ステロイドによると思われるアレルギーのため手術延期となった MR、AR の1症例

○菅沼 洋子、川村 隆枝、鈴木 広隆、秋山 潤根、水戸 龍平、佐藤 欣也

独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター 麻酔科

P1-19 人工心肺離脱後にプロタミンショックをきたした1症例

○鈴木 広隆、川村 隆枝、菅沼 洋子

独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター 麻酔科

P1-20 アルガトロバンを使用した心拍動下バイパス術でアナフィラキシーショックをきたした1例○西田 有里¹⁾、西田 武史²⁾、新見 能成²⁾

1)新葛飾病院 麻酔科、2)板橋中央総合病院

P1-21 ヘパリン誘発性血小板減少症患者に対しアルガトロバンを使用して人工心肺を施行した1例

○岩崎 功明、金 信秀、大野 長良、山田 芳嗣

東京大学医学部 麻酔学教室

P1-22 Drug Eluting Stent (DES) 症例における周術期抗血栓療法の検討

○黒田 真彦、河本 昌志

広島大学病院 麻酔・疼痛治療科

P1-23 寒凝固集素症を合併した心臓大血管手術の2症例—周術期管理についての検討—○板垣 大雅¹⁾、木倉 陸人¹⁾、佐藤 重仁²⁾

1) 県西部浜松医療センター 麻酔科、2) 浜松医科大学医学部 麻酔・蘇生学教室

一般演題 ポスター**9月15日** 15:00~16:00 [第3会場(606会議室)]**先天性心疾患2**

座長：橋口 清明(熊本市立熊本市民病院 麻酔科)

P1-07 Klippel-Feil 症候群の麻酔管理経験○小島 稚子¹⁾、飯田 良司¹⁾、依田 真隆²⁾

1) 日本大学医学部 麻酔科、2) 日本大学医学部 外科学系 心臓血管外科部門

P1-08 小児開心術での人工心肺離脱を困難にする治療抵抗性頻拍に静注アミオダロンが著効した1例○芳野 博臣¹⁾、茅島 顕治¹⁾、徳間 久乃¹⁾、松本 尚浩²⁾

1) 九州厚生年金病院 麻酔科、2) 産業医科大学 麻酔科

P1-09 9qトリソミー症候群患児のPDA結紮術に対して静脈麻酔薬で周術期管理を行った1症例

○勝見 紀文、国沢 卓之、長島 道生、笹川 智貴、高畑 治、岩崎 寛

旭川医科大学医学部附属病院 麻酔科蘇生科

P1-10 麻薬の退薬症状に対しケタミンが有効であった小児の1例○伊藤 弘晃¹⁾、祖父江和哉²⁾、平手 博之²⁾、隅田 英典¹⁾、中村不二雄¹⁾、勝屋 弘忠³⁾

1) 医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院、2) 名古屋市立大学大学院、3) 旭労災病院

P1-11 小児フォンタン型術後ICU管理におけるデクスメトミジンの有用性

○徳平 夏子、松尾 崇史、大塚 康義、宇城 敦司、嶋岡 英輝

大阪市立総合医療センター 集中治療部

P1-12 小児心臓手術術後での塩酸デクスメトミジンの臨床使用：従来の鎮静法との比較

○細川 康二、志馬 伸朗

京都府立医科大学附属病院 麻酔科 集中治療部

一般演題 ポスター**9月15日** 15:00~16:00 [第4会場(607会議室)]**サイトカイン・ICU**

座長：荒木 和邦(佐賀大学医学部附属病院 集中治療部)

P1-24 オフポンプ冠動脈バイパス術(OPCAB)の周術期におけるランジオロールのサイトカインに対する影響

○藤岡 容子、武田 直子、濱野 裕子、柿沼 孝泰、野口 将、宮田 和人、渡辺 省五、一色 淳

東京医科大学 麻酔科学教室

P1-25 開心術におけるシベレスタットナトリウムの効果

○本田 直子、岩久 文、長谷川優子、吉江 和佳、遠井 健司、田中 雅輝、安本 和正
昭和大学医学部 麻酔科学講座

P1-26 心臓手術における抗炎症療法が術後経過に与える影響 : PGE1 vs. ステロイド

○原 哲也¹⁾、三好 宏²⁾、趙 成三¹⁾、澄川 耕二²⁾
1)長崎大学医学部・歯学部附属病院 麻酔科、2)長崎大学大学院 麻酔・蘇生科

P1-27 体外循環離脱困難例における下垂体機能判定 (CRH 負荷試験) の意義と低容量コルチコステロイド療法の効果

○速水 元、山田 宏、永井正一郎、大濱 佐知、菅原 陽、桜井亜沙子、山口 修
横浜市立大学附属市民総合医療センター 集中治療部

P1-28 カテコラミン、バゾプレシン不応性低血圧に High flow-volume PMMA-CHDF が有効であった心臓血管術後の1症例

○小山 淑正、後藤 孝治、山本 俊介、日下 淳也、日高 正剛、松本 重清、新宮 千尋、野口 隆之
大分大学医学部 脳・神経機能統御講座(麻酔学)

P1-29 心臓血管外科症例で横紋筋融解症を発症した10例の検討

○貝沼 関志、大原 義隆
藤田保健衛生大学医学部 麻酔学(Surgical ICU)

一般演題 ポスター

9月15日 15:00~16:00 [第5会場(608会議室)]

運動誘発電位

座長：垣花 学(琉球大学医学部 生体制御医科学講座 麻酔科学分野)

P1-35 リドカインまたはロピバカインの硬膜外投与が運動誘発電位に与える影響

○堀内 俊孝、川口 昌彦、林 浩伸、井上 聡己、古家 仁
奈良県立医科大学 麻酔科学教室

P1-36 全静脈麻酔中の運動誘発電位モニタリングにおけるデクスメトミジンの影響

○相沢 圭、国沢 卓之、勝見 紀文、山岸 昭夫、長島 道生、高畑 治、岩崎 寛
旭川医科大学 麻酔科蘇生科

P1-37 超低体温下手術における MEP モニタリングの検討

○新澤 正秀、仙田 正博、能見 俊浩、吉谷 健司、平松 大典、大西 佳彦
国立循環器病センター 麻酔科

P1-38 胸部下行・胸腹部大動脈人工血管置換術症例における経頭蓋的運動誘発電位モニタリング下の検討

○久保田陽秋、垣花 学、宜野座 到、安達 康祐、笠間麻弥子、須加原一博
 琉球大学医学部生体制御医科学講座 麻酔科学分野

P1-39 胸腹部大動脈人工血管置換術後に対麻痺を生じた1症例

○岩田志保子、庄司詩保子、野村 実
 東京女子医科大学 麻酔科

P1-40 下行大動脈置換術中にMEPとTEEで脊髄虚血が疑われ術中管理を検討した1症例

○小熊 和世、能見 俊浩、新澤 正秀、宮崎信一郎、亀井 政孝、大西 佳彦
 国立循環器病センター 麻酔科

一般演題 ポスター

9月15日 土 16:00~16:50 [第3会場(606会議室)]

先天性心疾患3(非心臓手術)

座長：松本 尚浩(産業医科大学医学部 麻酔科学教室)

P1-13 先天性心疾患合併患者の帝王切開の2症例

○原 朋子¹⁾、平松 大典¹⁾、市川真紀子¹⁾、大西 佳彦¹⁾
 1)国立循環器病センター 麻酔科、2)田附興風会北野病院 麻酔科

P1-14 FONTAN術後患者における緊急帝王切開術の麻酔経験

○能見 俊浩、市川真紀子、竹内 瑞枝、宮崎 敦、小熊 和世、新澤 正秀、大西 佳彦
 国立循環器病センター 麻酔科

P1-15 グレン手術後の横隔神経麻痺に対して行った横隔膜縫縮術を契機に発症した両側性再膨張性肺水腫の1症例

○大江 克憲、下山 裕子、鈴木 尚志、今永 和幸、小坂 誠
 昭和大学横浜市北部病院 麻酔科

P1-16 神経芽細胞腫に肺動脈閉鎖、心室中隔欠損、主要体肺動脈側副血行路を合併した症例の麻酔経験

○清水 一好¹⁾、竹内 護²⁾、岩崎 達雄¹⁾、戸田雄一郎¹⁾、金澤 伴幸¹⁾、鈴木 聡¹⁾、森田 潔¹⁾
 1)岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 麻酔・蘇生学講座、
 2)自治医科大学とちぎ子ども医療センター手術・集中治療部

P1-17 先天性心疾患患者の非心臓手術の予後に関する検討

○宮本 千里、満瀬 哲郎、増田 和之、橋本 正博、城 嘉孝、赤坂 威史、橋口 清明
 熊本市立熊本市民病院 麻酔科

一般演題 ポスター

9月15日(土) 16:00~16:50 [第4会場(607会議室)]

合併症1・医療経済

座長：上原 康一(宮崎県立宮崎病院 麻酔科)

P1-30 大動脈弁狭窄症に対する大動脈弁置換術における人工心肺離脱時の心室細動の予測因子の検討○新屋 苑恵、宮脇 宏、野口 貴志、近藤 香、篠崎 友哉、片岡 誠、新里 泰一、
瀬尾 勝弘

社会保険小倉記念病院 麻酔科・集中治療部

P1-31 当院における冠動脈バイパス術症例の検討○二川 晃一¹⁾、杉浦 順子¹⁾、岡本 慎司¹⁾、奥田 隆彦¹⁾、古賀 義久²⁾

1)近畿大学医学部 奈良病院 麻酔科、2)近畿大学医学部 麻酔科学教室

P1-32 80歳以上の心臓大血管手術の麻酔管理と予後○森本 明浩、原田美登利、八木原正浩、河田 啓介、増田 直樹、海江田令次
福岡徳洲会病院 麻酔科**P1-33** 心臓手術後のカリウム補正方法からリスクマネジメントの本来的あり方を考える

○松田 知之、松本 裕則

第二岡本総合病院 麻酔科 集中治療室

P1-34 心臓麻酔のコスト管理-医療費削減時代における麻酔の質の維持への取り組み-

○高木 治、小田 利通、小橋 帝生、山崎 晃、高濱 豊

葉山ハートセンター 麻酔科

一般演題 ポスター

9月15日(土) 16:00~17:00 [第5会場(608会議室)]

脳酸素飽和度

座長：石田 和慶(山口大学医学部附属病院 麻酔科蘇生科)

P1-41 逆行性脳灌流中の脳組織内ヘモグロビン量の変化

○大野 長良、金 信秀、室屋 充明、蜷川 純、大辻 幹也、山田 芳嗣

東京大学医学部 麻酔学教室

P1-42 逆行性脳灌流中の脳酸素飽和度変化に、内頸静脈弁の関与を疑った1例○今井 洋介¹⁾、金 信秀¹⁾、林田 真和²⁾、山田 芳嗣¹⁾

1)東京大学医学部 麻酔学教室、2)埼玉医科大学 国際医療センター 麻酔科

P1-43 脳酸素飽和度モニターは循環血液量低下を鋭敏に感知する

○玄 運官、金 信秀、大野 長良、室屋 充明、蛭川 純、山田 芳嗣
 東京大学医学部 麻酔学教室

P1-44 経頭蓋脳血流ドップラーおよび近赤外線法による脳酸素飽和度は、呼気終末二酸化炭素濃度に強く相関する

○蛭川 純¹⁾、金 信秀¹⁾、室屋 充明¹⁾、大野 長良¹⁾、林田 眞和²⁾、山田 芳嗣¹⁾
 1) 東京大学医学部 麻酔学教室、2) 埼玉医科大学国際医療センター 麻酔科

P1-45 体外循環時における脳酸素化モニターの有用性について

○五十嵐利博¹⁾、岩田 祐輔²⁾、坂本 貴彦²⁾、黒澤 博身²⁾、深町きく代³⁾、野村 実³⁾
 1) 東京女子医科大学 臨床工学部、2) 東京女子医科大学 心臓血管外科、
 3) 東京女子医科大学 麻酔科学教室

P1-46 三段構えの脳灌流モニター：手法、基準、意義

○渡橋 和政¹⁾、黒田 真彦²⁾
 1) 広島大学病院 心臓血管外科、2) 広島大学病院 麻酔科

一般演題 ポスター

9月16日 13:10~14:00 [第3会場(606会議室)]

合併症2

座長：松山 博之(飯塚病院 麻酔科)

P2-01 体外式ペーシングの誤作動により心室細動を呈した1症例

○神田 浩嗣¹⁾、朝井 裕一¹⁾、岩崎 寛²⁾
 1) 国立病院機構帯広病院 麻酔科、2) 旭川医科大学医学部 麻酔科蘇生科

P2-02 中心静脈カテーテル留置時、カイドワイヤーに起因したと考えられた内頸静脈内フラップ形成の1例

○二階 哲朗¹⁾、橋本 龍也¹⁾、石田 亮介¹⁾、野村 岳志²⁾、齊藤 洋司¹⁾
 1) 島根大学医学部 麻酔科学教室、2) 島根大学医学部附属病院 集中治療部

P2-03 経食道エコーにより、術後舌潰瘍を形成した2症例

○本田 尚典、片山 勝之、横山 健、立石 浩二、小川 彰子、佐藤 秀雄、柴田 紀子
 手稲溪仁会病院 麻酔科

P2-04 心臓大血管手術及び整形手術後の高次脳機能及び日常生活動作の変化に関する検討

○石田 和慶¹⁾、立川 愛子²⁾、山下 敦生¹⁾、吉富 郁¹⁾、松田 朋子¹⁾、勝田 哲史¹⁾、
 松本美志也¹⁾、坂部 武史¹⁾
 1) 山口大学医学部附属病院 麻酔科蘇生科、2) 山口大学医学部医学科4年

P2-05 大動脈弓部置換術後の症候性脳障害についての検討

○林 浩伸、川口 昌彦、堀内 俊孝、井上 聡己、平井 勝治、古家 仁
奈良県立医科大学 麻酔科

一般演題 ポスター

9月16日 13:10~14:00 [第4会場(607会議室)]

周術期管理

座長：原 哲也(長崎大学医学部・歯学部附属病院 麻酔科)

P2-18 レミフェンタニルを使用した心臓麻酔の術後鎮痛

○小川 彰子、桜井 由佳、佐藤 秀雄、柴田 紀子、立石 浩二、横山 健、片山 勝之
手稲溪仁会病院 麻酔科

P2-19 超低体温下の胸部大動脈手術においてレミフェンタニルを用いて麻酔管理を行った症例の検討

○羽野 公隆、竹内 啓人
聖隷浜松病院 麻酔科

P2-20 たこつぼ型心筋症により生じた左室血栓に対し、外科的血栓除去を行い術後3日目に脳梗塞を発症した1例

○坂本 元¹⁾、内藤 嘉之¹⁾、有澤 創志²⁾、井出 雅洋²⁾
1) 明石医療センター 麻酔科、2) 神戸麻酔アソシエイツ

P2-21 重症肺動脈弁狭窄のための肺動脈弁置換の麻酔経験

○江村 佳子、川上 裕理、三浦 倫一、宮下 徹也
横浜市立大学附属病院 麻酔科

P2-22 塩酸ランジオロールを用いた褐色細胞腫の麻酔管理

○森田さおり¹⁾、福島 祐二¹⁾、安藤 由美¹⁾、館田 武志²⁾
1) 聖マリアンナ医科大学 横浜市西部病院 麻酔科、2) 聖マリアンナ医科大学医学部 麻酔学教室

一般演題 ポスター

9月16日 13:10~14:00 [第5会場(608会議室)]

OPCAB

座長：渡邊 誠之(久留米大学医学部 麻酔学講座)

P2-35 OPCAB 中の体温低下防止には、輸液加温と滅菌済み温風ブランケットが有効である

○清水 功
平塚共済病院 麻酔科

P2-36 TEEにて検出された虚血性僧帽弁逆流を伴った壁運動異常が心室細動による循環虚脱に先行した OPCAB の1症例

○岡本 浩嗣、兵頭亜紀子、外 須美夫
北里大学医学部 麻酔科学

P2-37 心拍動下冠動脈バイパス術におけるセボフルラン、プロポフォール的心筋保護効果

○若松 成知¹⁾、酒井 陽子¹⁾、山中 明美¹⁾、加藤 道久¹⁾、郷 律子²⁾、神山 有史²⁾
1) 徳島赤十字病院 救急部、2) 徳島赤十字病院 麻酔科

P2-38 レミフェンタニル、デクスメドミジンを用い ultra fast-track anesthesia にて管理した OPCABG 症例

○松本 克平、杉本 愛
東大和病院 麻酔科

P2-39 OPCAB におけるレミフェンタニル・セボフルラン麻酔

○八木原正浩、河田 啓介、増田 直樹、森本 明浩、原田美登利、海江田令次
福岡徳洲会病院 麻酔科

一般演題 ポスター

9月16日 14:00~15:00 [第3会場(606会議室)]

合併症3

座長：眞鍋 治彦(北九州市立医療センター 麻酔科)

P2-06 下行大動脈人工血管置換術後に乳糜胸を来した症例の麻酔管理

○野村 哲也、舟井 優介、堀 直人、平川公美子、堀田 有沙、中本 あい、吉川 範子、
立川 茂樹
住友病院 麻酔科

P2-07 片肺換気中に冠動脈攣縮を起こした症例

○石垣麻衣子¹⁾、星 拓男²⁾
1) 日立総合病院、2) 筑波大学大学院 人間総合科学研究科手術部

P2-08 内視鏡下撓骨動脈グラフト採取時に高血圧と頻脈を来した2例

○吉富 郁、石田 和慶、山下 敦生、吉村 学、松本美志也、坂部 武史
山口大学医学部附属病院 麻酔科蘇生科

P2-09 術中重篤な肺高血圧症を合併した1例

○和田 浩輔、清野 雄介、庄司詩保子、野村 実
東京女子医科大学 麻酔科学教室

P2-10 くも膜下出血術後の急性肺血栓塞栓症に対し緊急血栓除去術を施行し救命しえた1例○松本 直樹¹⁾、岡野 暢宏²⁾、星野 豊²⁾、大谷 英祥²⁾、齋藤 繁¹⁾

1)群馬大学附属病院 麻酔科蘇生科、2)深谷赤十字病院 麻酔科

P2-11 周術期に経験した静脈血栓塞栓症の2症例

○澤井 俊幸、辰巳 真一、伊藤 雅之、岡 雅行、田中 源重、南 敏明

大阪医科大学 麻酔科学教室

一般演題 ポスター**9月16日(日)** 14:00~15:00 [第4会場(607会議室)]**自己血輸血・大血管緊急手術**

座長：原武 義和(済生会熊本病院 中央手術センター)

P2-23 僧帽弁置換術における自己血輸血と同種血輸血の状況

○徳竹 美紀、神谷 和男、朝日 丈尚、岸 理歩

富山県立中央病院 麻酔科

P2-24 自己血回収装置の使用を拒否したエホバの証人胸部大動脈瘤の2症例

○安部 和夫、吉田 淳子

桜橋渡辺病院 麻酔科

P2-25 大動脈解離像を呈した心膜囊腫破裂の1症例○藤田 ミキ、隈元 泰輔、加藤 清彦、村上幸太郎、田上 望、古庄 千代、岩政 浩子、
原武 義和

済生会熊本病院 麻酔科

P2-26 麻酔導入直後にショック状態に陥った腹部大動脈下大静脈瘻を伴う腹部大動脈瘤切迫破裂患者の麻酔経験

○牧園 玲子、森川 敬子、吉野 淳、田中 宏幸

独立行政法人国立病院機構 九州医療センター

P2-27 演題取り下げ**P2-28** 心肺蘇生を行いながら手術室に搬送したにもかかわらず重篤な合併症なく回復した腹部大動脈瘤破裂の1例

○飯田 美紀、福岡 尚和、鷺見 和行、土肥 修司

岐阜大学大学院医学研究科 麻酔・疼痛制御学講座

一般演題 ポスター

9月16日(日) 14:00~15:00 [第5会場(608会議室)]

TEE1

座長：神田橋 忠(九州大学病院 手術部)

P2-40 後天性肺静脈狭窄症に対し経食道心エコーが有用であった1症例

○上野 恵、国沢 卓之、長島 道生、笹川 智貴、鈴木 昭広、高畑 治、岩崎 寛
旭川医科大学 麻酔科蘇生科

P2-41 経食道心エコーによる送血管の確認 —胸部大動脈のブラインドゾーンの有無—

○原木 俊明¹⁾、黒田 真彦¹⁾、渡橋 和政²⁾、河本 昌志¹⁾
1) 広島大学病院 麻酔・疼痛治療科、2) 広島大学病院 心臓血管外科

P2-42 外傷性仮性大動脈瘤手術中の術式決定に TEE が有用であった1症例

○桜井 由佳、讃岐美智義、采谷 英男、中尾三和子
県立広島病院 麻酔集中治療科

P2-43 側彎症と左上大静脈遺残を合併した心房中隔欠損症に対する Port-Access 法の1例

○井上 敬、吉川ひろか、岩室 賢治、山田 達也、香取 信之、武田 純三
慶應義塾大学医学部 麻酔科

P2-44 オープンステント法を用いた弓部大動脈人工血管置換術における経食道心エコーの有用性の検討

○西迫 良¹⁾、坂本 三樹¹⁾、後藤晃一郎²⁾、館田 武志¹⁾
1) 聖マリアンナ医科大学 麻酔学教室、2) 石心会狭山病院 麻酔科

P2-45 経咽頭エコーの可能性

○金 信秀、蛭川 純、室屋 充明、大野 長良、山田 芳嗣
東京大学医学部 麻酔学教室

一般演題 ポスター

9月16日(日) 15:00~16:00 [第3会場(606会議室)]

心不全・循環補助

座長：趙 成三(長崎大学医学部・歯学部附属病院 麻酔科)

P2-12 重症拡張型心筋症患者への心臓再同期療法の麻酔経験

○青木優太¹⁾、佐々木利佳²⁾、竹村 佳記²⁾、釈永 清志²⁾、松田 直之²⁾、畠山 登²⁾、
廣田 弘毅²⁾、山崎 光章²⁾
1) 富山市民病院 麻酔科、2) 富山大学大学院 医学・薬学研究部 麻酔科学講座

P2-13 心臓再同期療法を受けた患者の麻酔管理

○多田誠一郎、大竹 一信、新屋 苑恵、角本 眞一、川島 正章、瀬尾 勝弘
社会保険小倉記念病院 麻酔科・集中治療部

P2-14 拡張型心筋症を合併した僧帽弁狭窄症に対する僧帽弁置換術の麻酔経験

○中村 武人、清水 雅子、池田 優子、三宅和香子、池下 和敏、浅田 章
 大阪市立大学大学院医学研究科 麻酔・集中治療医学講座

P2-15 Novel cannulation for ECMO after LVAS

○依田 真隆¹⁾、小島 稚子²⁾
 1) 日本大学医学部付属板橋病院 心臓外科、2) 日本大学医学部付属板橋病院 麻酔科

P2-16 僧帽弁閉鎖不全症を合併した虚血性心筋症の開心術における麻酔管理の検討

○藤井 崇、矢部 充英、矢野 陽子、山本 俊介、寺井 岳三
 大阪労災病院 麻酔科

P2-17 右心不全による体外循環離脱困難例に対し肺動脈バルーンパンピングを施行した1症例

○朝井 裕一¹⁾、神田 浩嗣¹⁾、岩崎 寛²⁾
 1) 国立病院機構帯広病院 麻酔科、2) 旭川医科大学 麻酔科蘇生科

一般演題 ポスター

9月16日 15:00~16:00 [第4会場(607会議室)]

大血管手術

座長：笠羽 敏治(宮崎大学医学部 麻酔生体管理学)

P2-29 当院における腹部大動脈瘤手術に対する周術期管理の変遷

○神谷 和男、岸 理歩、佐藤 美紀、朝日 丈尚
 富山県立中央病院 麻酔科

P2-30 大動脈瘤に対するステントグラフト治療の麻酔について

○金田 徹¹⁾、三岡 博²⁾、東 茂樹²⁾、鈴木 利保¹⁾
 1) 東海大学医学部 外科学系麻酔科学、2) 静岡赤十字病院心臓血管外科

P2-31 急速心室ペーシング法を用いたステントグラフト内挿術の麻酔経験

○山岸 昭夫、国澤 卓之、勝見 紀文、長島 道生、高畑 治、岩崎 寛
 旭川医科大学 麻酔科蘇生科

P2-32 大動脈解離に腋窩動脈送血は安全か?

○渡橋 和政¹⁾、黒田 真彦²⁾
 1) 広島大学病院 心臓血管外科、2) 広島大学病院 麻酔科

P2-33 5歳小児および腰椎金属固定具装着患者に脳脊髄液ドレナージカテーテル留置を行った症例

○長友 香苗、金 信秀、蜷川 純、今井 洋介、山田 芳嗣
 東京大学医学部附属病院 麻酔科・痛みセンター

P2-34 胸部下行・胸腹部大動脈瘤手術後の麻薬を用いた持続硬膜外鎮痛についての検討

○酒井 陽子、若松 成知、加藤 道久、郷 律子、神山 有史
徳島赤十字病院 麻酔科

一般演題 ポスター

9月16日 15:00~16:00 [第5会場(608会議室)]

TEE2・モニタリング

座長：松永 明(鹿児島大学医学部 麻酔・蘇生学教室)

P2-46 経食道心エコーで Lambi's excrescence を認めた1症例

○中平 淳子、澤井 俊幸、岡 雅行、伊藤 雅之、奥野 隆司、田中 源重、南 敏明
大阪医科大学 麻酔科学教室

P2-47 経食道心エコーが有用であった左室内腫瘍の麻酔経験

○山田 達也、加藤 純吾、香取 信之、武田 純三
慶應義塾大学医学部 麻酔学教室

P2-48 valsalva 洞に局限した大動脈解離の1症例

○室井 賢一
財団法人宮城県成人病予防協会附属 仙台循環器病センター 麻酔科

P2-49 食道手術における肺臓鉤の使用が心係数、一回拍出量、一回拍出量変化量に与える影響

○藤沢美智子¹⁾、石川 晴士¹⁾、白澤 円¹⁾、滝島 千尋¹⁾、小谷 和弘¹⁾、玉川 隆生¹⁾、
榎田 浩史²⁾
1)東京医科歯科大学 麻酔・蘇生・ペインクリニック科、2)心肺統御・麻酔学

P2-50 術前に診断されていないVSDによりAPCOとTDCOの乖離を示したと考えられた症例

○渡邊 和宏、星 拓男
筑波大学大学院 人間総合科学研究科 機能制御医学専攻 麻酔蘇生学分野

P2-51 腹部大動脈瘤切除再建術患者の左心前負荷評価に関する一回拍出量変動の有用性

○秋吉浩三郎¹⁾、神田橋 忠²⁾
1)九州大学病院 麻酔科蘇生科、2)九州大学病院 手術部